

JA全農たまご株式会社 西日本営業本部 殿
有限会社 サンエッグ 殿

全農家畜衛生研究所
クリニックセンター長

検査報告書

ご依頼いただきました検査の結果について、ご報告いたします。

畜種 : 安全性 (保存検査)
受付番号 : 2023-00119
検査実施機関 : 全農家畜衛生研究所 クリニックセンター
担当事業所・分室 : クリニックセンター
採材年月日 :
受付年月日 : 令和5年6月8日
検査終了日 : 令和5年7月13日
農場名 : 有限会社 サンエッグ
コース : ダンボール卵コース 春 (22℃、20日間)
検査依頼元 : JA全農たまご株式会社 西日本営業本部
依頼元担当者 :
発送元 : 有限会社 サンエッグ
請求先 : JA全農たまご株式会社 西日本営業本部
検査材料 :
鶏卵(内容) : 6
検査結果 : 下記の通り

【鶏卵(内容)】

検体No.	検体明細	サルモネラ-保存卵	一般生菌数 (cfu/ml)	大腸菌群数 (cfu/ml)
1	赤 M	—	$<2.0 \times 10^1$	$<2.0 \times 10^1$
2	赤 L	—	2.0×10^1	$<2.0 \times 10^1$
3	ピンク M	—	$<2.0 \times 10^1$	$<2.0 \times 10^1$
4	ピンク L	—	$<2.0 \times 10^1$	$<2.0 \times 10^1$
5	白 M	—	$<2.0 \times 10^1$	$<2.0 \times 10^1$
6	白 L	—	$<2.0 \times 10^1$	$<2.0 \times 10^1$

検査方法

サルモネラ-保存卵 : 検査試料を37℃で48時間培養し、サルモネラ分離を行った。サルモネラが疑われるコロニーが分離された場合、常法にしたがって3S (ST、SE、SH) か判断した。
一般生菌数 : 標準寒天培地 (37℃48時間培養)。スパイラル・プレーティング法 (検出限界、単位: 2.0×10^1 CFU/mL)
大腸菌群数 : デソキシコーレイト寒天培地 (37℃24時間培養)。スパイラル・プレーティング法 (検出限界、単位: 2.0×10^1 CFU/mL)
保存条件 : 22℃20日保管

検査結果にもとづく評価と改善点

以上